

平成 29 年度

# 事業報告書

平成 30 年 6 月

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

# 目 次

	ページ
1 管理部門	
(1) 法人の概要	3
(2) 理事会・評議員会等	4
2 事業部門	
1 「精神障害者等」の社会参加への支援	
イ 精神科デイケア事業（こころのリカバリー総合支援センター）	
① 精神科デイケアの実施	
a デイケア事業概況	5
b 平成29年度に在籍した通所者の概要	5
c 年度別通所終了者の理由	6
d 通所希望見学者及び受理面接者数	6
e デイケア年間行事実施状況	7
f 関係団体の支援及び各種行事への参加状況	7
g 地域生活支援事業	7
② O B会活動支援	
a アフターケア（O B会）関連業務	8
③ 家族会活動支援	
a 家族会関連業務	8
ロ 障害者就労支援事業	9
ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業	
(1) 多機能型事業所の運営	
① 就労継続支援B型事業所（こころカ・プロダクション）の運営	
a メンバー構成	10
b 福祉手帳取得状況	10
c 通所者数	11
d 工賃	11
e 活動内容	11
② 就労移行支援事業所（ここスタ）の運営	14
(2) 相談支援事業所の運営	
① ココクルの運営	14
2 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及	
イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業	
① 地域精神保健スタッフ等研修事業	
a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座	15
② 実習生、見学の受け入れ事業	
a 施設見学等来所者状況	15
b 実習受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ	15
③ 各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業	16
④ 市民講座の開催	16
⑤ 障害者のスポーツ振興への協力	16
⑥ 地域移行研修会、エリア別研修会、ピアサポーター研修会の開催 （北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業））	
a 地域移行研修会	16
b エリア別研修会	17
c ピアサポーター研修	18
⑦ 精神障害者等に関する調査・研究事業	
a ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対しての モチベーション・サポート実践～他施設合同研究事業	18
ロ 高次脳機能障害者支援事業等	
① 相談窓口及びリハビリ提供	
a 高次脳機能障がい者支援事業（リハビリ提供・地域生活支援事業） 【在宅生活支援事業】	19
ハ ひきこもり対策推進事業	
① 北海道ひきこもり成年相談センターの運営	
② 札幌市ひきこもり地域支援センターの運営	
a 相談支援実施状況	22
b 支援ネットワークの構築等	30
c 普及啓発	34

3	会計部門	
	貸借対照表	3 7
	正味財産増減計算書	3 8
	正味財産増減計算書内訳表	4 0
	財産目録	4 2
	財務諸表に対する注記	4 4
	収支計算書	4 7
	収支計算書に対する注記	4 9
4	監査報告	
	監査報告書	5 0
資料編		
1	理事・監事・顧問・参与・評議員名簿	5 1
2	財団法人設立の経過等	5 1
3	施設の概要	5 2
4	基本財産	5 2

# 1 管 理 部 門

## (1) 法人の概要

### 【事業内容】

公益財団法人北海道精神保健推進協会は、精神保健思想の啓発普及と精神障害者等（メンタルヘルスケアの諸問題を抱える人を含む。）の社会参加を促進し、精神障害者等の福祉の向上に寄与することを目的として運営しており、定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- ・精神保健思想の啓発普及
- ・精神障害者等の社会復帰のための医療施設（デイケア及び診療所）の設置及び運営
- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- ・障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業・特定相談支援事業
- ・障害者地域生活支援センター等の相談支援事業に対する指導援助
- ・精神障害者等の就労・雇用に向けた支援
- ・地域精神保健・医療・福祉充実のための支援
- ・精神保健医療福祉に関する調査研究
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業

### ○法人の主な事業

精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を図ることを目的に、精神科デイケア施設（独立型）である「こころのリカバリー総合支援センター」を運営するとともに、就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」、就労移行支援事業所「こコスト」、相談支援事業所「ココクル」を運営している。

「リカバリーセンター」では医学的管理のもとに、通所者への個別的相談や指導、社会的自立のための基礎的訓練、生活指導、作業訓練、レクリエーション、体力づくりなどを週間プログラムに沿って実施している。

また、北海道から委託事業として、高次脳機能障害者の受け入れ（平成16年度～）や精神障害者の入院から地域生活への移行支援事業の実施（平成19年度～）、「北海道ひきこもり成年相談センター」の運営（平成21年度～）を行うほか、札幌市からの委託事業として、「札幌市ひきこもり地域支援センター」（平成27年度～）の運営を行っている。

【役員】 理事10名・監事2名・顧問1名・参与1名・評議員11名

※氏名等資料編（54P）に掲載

【法人職員】（合計22名：常勤職員 13名、非常勤職員 9名）※H29.4.1現在

#### ○「こころのリカバリー総合支援センター」

- ・常勤職員 9名〔 所長（医師・理事長）、事務職員2名、精神保健福祉士3名、  
作業療法士2名、保健師1名、（精神保健福祉士・兼務1名） 〕
- ・非常勤職員 2名〔 医師1名、事務職員1名 〕

#### ○就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」

- ・常勤職員 2名〔 管理者（精神保健福祉士）、職業指導員（精神保健福祉士）1名、  
（生活支援員（作業療法士・兼務）1名） 〕
- ・非常勤職員 6名〔 生活支援員（作業療法士）1名、  
目標工賃達成指導員（精神保健福祉士）1名、調理員4名 〕

#### ○就労移行支援事業所「こコスト」

- ・常勤職員 1名  
〔 就労支援員（精神保健福祉士）1名  
（管理者（精神保健福祉士・兼務））、（生活支援員（精神保健福祉士・兼務）） 〕
- ・非常勤職員 1名〔 職業指導員（社会福祉士）1名 〕

#### ○相談支援事業所「ココクル」

- ・常勤職員 1名〔 管理者（精神保健福祉士）、（相談員（精神保健福祉士・兼務）） 〕

(2) 理事会・評議員会等

区 分	年月日、会場等	議事等の内容
平成 29 年度 評議員会 (決議の省略)	平成 29 年 5 月 1 日 書面表決	理事の選任
平成 29 年度 理事会 (決議の省略)	平成 29 年 5 月 8 日 書面表決	参与の推薦
当法人監事による平成 28 年度 決算等監査	平成 29 年 5 月 23 日 於：こころのリカバリー総合 支援センター	平成 28 年度 事業の実施状況、 予算執行状況、財産目録等関係 帳票の監査 (出席) 監事 2 名
平成 29 年度第 1 回理事会	平成 29 年 6 月 2 日 於：北海道立道民活動センター	平成 28 年度 事業報告、決算報 告及び平成 28 年度補正予算等 (出席) 理事 10 名、監事 2 名 顧問 1 名、参与 1 名
平成 29 年度第 1 回評議員会	平成 29 年 6 月 20 日 於：北海道立道民活動センター	平成 28 年度 事業報告、決算報 告及び平成 28 年度補正予算等 (出席) 評議員 10 名
平成 29 年度 理事会 (決議の省略)	平成 30 年 1 月 19 日 書面表決	平成 29 年度事業計画の追加、 第 1 次補正予算等
平成 29 年度 評議員会 (決議の省略)	平成 30 年 1 月 30 日 書面表決	平成 29 年度事業計画の追加、 第 1 次補正予算等
平成 29 年度第 2 回理事会	平成 30 年 3 月 9 日 於：北海道立道民活動センター	平成 30 年度事業計画、収支予 算等 (出席) 理事 8 名、監事 2 名 顧問 1 名、参与 1 名
平成 29 年度第 2 回評議員会	平成 30 年 3 月 26 日 於：北海道立道民活動センター	平成 30 年度事業計画、収支予 算等 (出席) 評議員 8 名

## 2 事業部門

### 1 「精神障害者等」の社会参加への支援

#### イ 精神科デイケア事業（こころのリハビリ総合支援センター）

##### ① 精神科デイケアの実施

##### a デイケア事業概況

	H29										H30			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月間在籍者数 下段：高次脳再掲	141	145	142	140	143	144	145	145	146	145	141	140		
	16	16	16	16	16	16	16	15	15	14	13	13		
延べ出席者数 (デイケア、ショートケア、デイナイトケア、ナイトケア)	784	799	952	791	793	756	813	687	723	707	681	787	9,273	
下段：高次脳再掲	74	75	91	52	55	45	46	54	68	59	68	76	763	
通所開始	1	6	0	2	3	1	2	2	1	2	4	1	25	
通所終了	1	3	4	0	0	1	2	0	3	8	2	5	29	
一日平均出席数	39.2	40.0	43.3	37.7	36.0	37.8	37.0	34.4	36.2	37.2	35.8	37.5	37.7	

※曜日別内訳	H29										H30			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
【月火木金】														
開設日数	16	16	18	17	17	16	18	15	16	15	15	18	197	
延べ出席者数 (デイケア、ショートケア、デイナイトケア、ナイトケア)	667.0	674.0	806.0	645.0	646.0	647.0	690.0	556.0	604.0	587.0	579.0	702.0	7,803	
下段：高次脳再掲	62.0	63.0	79.0	42.0	48.0	40.0	39.0	48.0	58.0	50.0	59.0	68.0	656	
一日平均出席数	41.7	42.1	44.8	37.9	38.0	40.4	38.3	37.1	37.8	39.1	38.6	39.0	39.6	

【水】	H29										H30			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開設日数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	4	3	49	
延べ出席者人数 (デイケア、ショートケア)	117	125	146	146	147	109	123	131	119	120	102	85	1,470	
下段：高次脳再掲	12	12	12	10	7	5	7	6	10	9	9	8	107	
一日平均出席数	29.3	31.3	36.5	36.5	29.4	27.3	30.8	26.2	29.8	30.0	25.5	28.3	30.1	

##### b 平成29年度に在籍した通所者の概要

表. 1-1 通所者の件数

	男	女	計
前年度から継続	100	39	139
当年度に通所開始	14	11	25
計	114	50	164

表. 2-1 通所者の年齢

年齢区分	男	女	計
10～19歳	2	3	5
20～29歳	28	18	46
30～39歳	30	10	40
40～49歳	37	12	49
50歳以上	17	7	24
計	114	50	164
平均年齢	37.9	35.1	37.1

表. 3-1 疾患別状況

	人数	構成
F2 統合失調症	61	37.2%
F3 気分(感情)障害	33	20.1%
F4 神経症性障害	21	12.8%
F6 人格障害	2	1.2%
F7 精神遅滞	2	1.2%
F8 発達障害	23	14.0%
F9 行動および情緒の障害	5	3.0%
G4 てんかん性障害	1	0.6%
高次脳機能障害(※)	16	9.8%
計	164	100%

※疾患別状況(高次脳機能障害内訳)

	人数	構成
F04 器質性健忘症候群	9	56.3%
F06 脳損傷、脳機能不全および 身体疾患による他の精神障害	3	18.7%
F07 器質性パーソナリティ行動障害	4	25.0%
計	16	100%

表. 4-1 通所年数

通所年数区分	通所者	終了者	計
1年未満	24	4	28
1年以上～3年未満	32	9	41
3年以上～5年未満	33	5	38
5年以上～10年未満	25	8	33
10年以上	22	2	24
計	136	28	164
平均通所年数	5年1ヶ月	4年1ヶ月	4年11ヶ月
最短通所年数	1ヶ月	2ヶ月	
最長通所年数	21年1ヶ月	13年9ヶ月	

表. 5-1 出席状況

通所日数区分	在籍者	終了者	計
50日以下	70	27	97
51日以上～100日以下	24	0	24
101日以上～150日以下	28	1	29
150日以上～200日以下	6	1	7
201日以上	7	0	7
計	135	29	164
平均通所日数	65.5	14.6	61
最少日数	0	0	
最大日数	240	184	

表. 6-1 平成29年度終了者の終了時転帰

転帰区分	男	女	計
就労	5	2	7
事業所	4	2	6
在宅	6	2	8
入院	1	5	6
死亡	0	0	0
その他	0	2	2
計	16	13	29

c 年度別通所終了者の理由

(単位:人)

	年 度	就労	事業所	在宅	中断	入院	死亡	その他	計
総数	昭和63年度～平成28年度	117	159	120	40	203	6	28	673
	(高次脳機能障害 再掲)	(4)	(12)	(4)		(6)	(1)	(1)	(28)
	平成29年度	7	6	8	0	6	0	2	29
	(高次脳機能障害 再掲)		(2)	(1)					(3)
	総計	124	165	128	40	209	6	30	702
		(4)	(14)	(5)		(6)	(1)	(1)	(31)

d 通所希望見学者及び受理面接者数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		見学者数	精神科デイケア	1	3	3	2	2	4	1	5	4	1	3
	高次脳機能障害	-	-	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4
受理面接者数	精神科デイケア	2	2	2	2	-	2	3	1	-	2	2	-	18
	高次脳機能障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0

e デイケア年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	参加人数 (メンバー)	実施場所	備考
7	21 22	金 土	センター宿泊行事	88	当センター	
10	13 14	金 土	センター祭	95	当センター	
12	28	木	臨時デイケア（もちつき大会）町内交流 年納め会	43	当センター	
1	4	木	新年会	37	当センター	

f 関係団体の支援及び各種行事への参加状況

月	日	内 容
4	28	NPO法人オーク会理事会・総会出席
6	20	札幌家連ソフトボール大会打ち合せ出席
6	24	第8回北海道チャンピオンズカップ2017（フットサル）参加
7	5	障害福祉サービス等初任者研修in空知講師派遣
7	13	道回連総会打ち合せ出席
7	28	第22回全道精神障害者スポーツ大会（北家連主催）参加
7	30	道回連総会出席
8	22	札幌家連ソフトボール大会監督会議出席
10	11	北精診リハビリテーション研究会実行委員会出席
10	24	北海道虐待防止研修会講師派遣
11	21	北海道虐待防止研修会講師派遣
12	6	北海道虐待防止研修会講師派遣
12	22	NPO法人すみれ会忘年会出席
2	14	札幌市自殺対策実務者会議出席
2	23	札幌家連体育大会監督会議出席
3	12	札幌家連体育大会参加

g 地域生活支援事業

・地域生活支援業務

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家庭訪問及び同行支援	2	0	1	4	7	4	3	6	8	3	3	6	47
関係機関とのケース会議	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
関係機関連携（電話・来所等）	18	6	3	8	12	7	9	14	8	10	10	7	112

・相談関連業務件数

(単位：回)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所者	面接	72	66	85	52	77	82	73	80	81	87	92	119	966
	電話	35	50	36	31	32	32	35	26	29	41	29	32	408
	メール	12	4	10	10	6	3	7	4	2	2	5	11	76
OB	面接	1	2	5	2	2	1	0	0	0	0	1	0	14
	電話	2	8	5	5	2	4	2	6	4	8	8	2	56
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
家族	面接	5	6	8	1	3	5	4	3	5	5	4	6	55
	電話	3	10	10	3	12	9	11	5	5	7	19	15	109
	メール	1	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	5
関係機関等	面接	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	6
	電話	9	2	1	3	6	8	6	5	3	5	4	0	52
	メール	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	4	3	14
一般	面接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	電話	2	6	4	2	3	3	0	0	2	3	3	0	28
	メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1



② OB会活動支援

a アフターケア（OB会）関連業務

月	日	曜日	内 容	場 所	参加 人数
8	23	水	幹事会（交流会の企画）	こころのリハビリ総合支援センター	4
9	30	土	元気でやっとなる会（交流会）	今宵は御馳屋（札幌市中央区）	7
2	16	水	幹事会（交流会の企画） 機関誌（こまん・たれ・ぶー）編集・発送	こころのリハビリ総合支援センター	4
4	14	土	元気でやっとなる会（交流会）	今宵は御馳屋（札幌市中央区）	14

③ 家族会活動支援

a 家族会関連業務

(単位:人)

月	日	曜日	内 容	出席 人数
4	5	水	発送	5名
4	20	水	総会 役員会	22名
5	1	月	発送	5名
5	17	水	阿部所長講話 話し合い	21名
6	7	水	発送	5名
6	21	水	通所者メンバーとの交流会（野外バーベキュー）	14名
7	5	水	発送	5名
7	19	水	百合が原公園散策	18名
8	2	水	発送	5名
8	16	水	ビデオ鑑賞 話し合い	15名
9	6	水	発送	5名
9	20	水	ビデオ鑑賞 センター祭打ち合わせ	20名
10	4	水	発送	5名
10	14	土	センター祭	21名
11	1	水	発送	5名
11	15	水	話し合い ユニカール	15名
12	6	水	発送	4名

(単位:人)

月	日	曜日	内 容	出席 人数
12	20	水	脳トレゲーム 話し合い	14名
1	10	水	発送	4名
1	17	水	新年会	23名
2	7	水	発送	5名
2	15	水	小出さんを囲んで	17名
3	7	水	発送	5名
3	20	水	1年の振り返り、来年度の活動について話し合い	12名

## ロ 障害者就労支援事業

平成28年度に開設した就労移行支援事業所「ここスタ」とも連携し、就労準備のためのセミナー等の開催を行い、就労に向けた知識、方法を具体的に学び、自分にあった働き方を考える機会を提供した。

### 平成29年度実績「就労準備のためのデイケアプログラム」

実施日	内容	参加者
5/23 (火)	この集いに望むこと期待すること	3名
5/30 (火)	良いコミュニケーションと悪いコミュニケーション。自分の長所と短所	3名
6/ 6 (火)	自分の工夫、働くにあたって配慮してほしいこと	3名
6/13 (火)	働く意味、どのように働きたいか	4名
8/22 (火)	働く前の自己チェック	4名
8/29 (火)	生活リズムチェック、生活リズムを整える	4名
9/ 7 (木)	疲れた時、疲れそうな時の気分転換の方法について	2名
9/14 (木)	まとめと今後の課題	3名

計8回実施。延べ26名参加

## ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

平成26年6月から就労継続支援B型事業所「ここリカ・プロダクション」を開始。メディア事業所として活動をはじめ、丸3年が経過しようとしている。医療保健福祉分野の人たちだけではなく、様々な分野の関係者と出会い、繋がりながら仕事を広げている一方、収入面での課題も出てきている。

平成28年6月からは、就労移行支援事業所「ここスタ」を付置し、多機能型事業所として活動している。実績が上がらず、苦心してきたが、平成29年度末に1名が一般就労に結び付いた。

また、平成28年6月から相談支援事業所「ココクル」の運営を行うなど障害者の自立した生活を支える取り組みを行っている。

## (1) 多機能型事業所（就労移行支援事業・就労継続支援B型事業）の運営

### ① 就労継続支援B型事業所（こころカ・プロダクション）の運営

ここプロは、メディア事業所として活動を始めて3年経過した。仕事の幅も広がり、多くの関係機関との協働を行ってきた。

今年度は、コミュニティFM（エフエムしろいし）で番組を持ったことが大きい。4月から始めた「つながるここプロラジオ」（毎週火曜日15時から16時生放送。土曜日16時から17時再放送）という番組では、精神障害や仕事のことをテーマに番組を制作し放送している。関係機関やスポンサーである北星学園大学の学生などをゲストに招き、交流もしてきた。

9月からは、「それゆけ！！スマイルランチ」（毎週水曜日11時30分から12時30分）という番組も担当。札幌市内の保育園に取材に行き、園児へのインタビュー、歌声などを録音し、放送。イベントの情報なども紹介する番組となっている。保育園への取材後に販売するDVD、写真の売上金が安定した収益につながっている。

この2本の番組を持ったことで、メディア事業所としての意義は大きくなり、発信する内容も意識できるようになったこと、多くの人や機関とつながるきっかけになったことなどがメリットとして挙げられる。

一方で、ラジオの準備に多くの時間を割いたが、収入を上げることにはつながらなかったというデメリットもあった。

次年度は、これらを踏まえ、①時間とアイデアの使い方を具体的に改革する、②これまでの動画撮影などの経験を収益につなげる、③安定した収入になるように仕事の質を向上するという3点を柱に、メンバーと協働していく。

#### a メンバー構成（平成30年3月31日現在）定員14名

①性別：登録者17名（男性14名、女性3名）

②年齢：平均年齢40.3歳（最低22歳、最高50歳）

③障害状況：

疾患名	人数
身体障害	1
知的障害	2
精神障害	15
計	18

※（1名重複）

#### b 福祉手帳取得状況

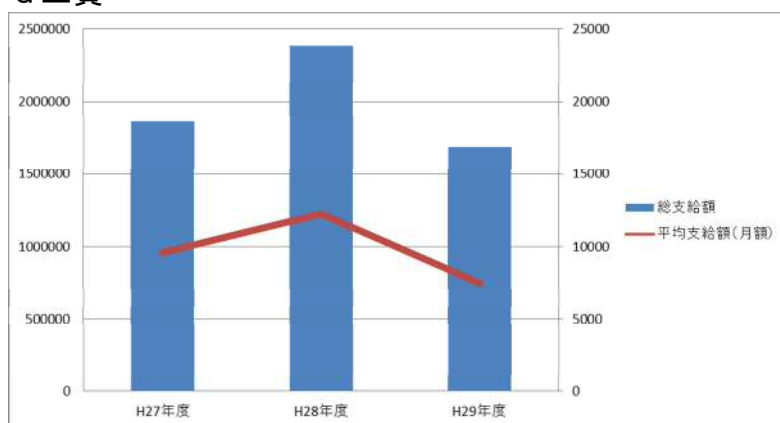
手帳等級	人数
身体障害者福祉手帳1級	1
療育手帳B	1
療育手帳B-	1
精神保健福祉手帳2級	13
精神保健福祉手帳3級	1
なし	1
計	18

※（1名重複取得）

### c 通所者数

平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
登録人数	18	19	20	19	19	19	18	18	18	19	19	18	18.7
平均通所者数	13.6	13.7	14	13.9	14	14.4	14.6	15.1	14.7	14.7	15.5	13.3	14.3
通所率	75.6%	72.1%	70.0%	73.2%	73.7%	75.8%	81.1%	83.9%	81.7%	77.4%	81.6%	73.9%	76.6%

### d 工賃



平成29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計・平均
工賃支給額	113,500	130,100	156,300	126,600	150,700	142,900	126,200	165,900	138,100	131,000	154,100	153,300	1,688,700
平均支給額(月給)	6305.6	6847.4	7815.0	6663.2	7931.6	7521.1	7011.1	9216.7	7672.2	6894.7	8110.5	8068.4	7504.8

### e 活動内容

#### ○行政との協働（委託事業など）の実績

市町村名
北広島市
滝川市

#### ○他の NPO・市民活動団体との協働の実績

団体名	概要
柏町内会	行事参加等
白石東地区 社会福祉協議会	災害対策研修会講師
白石かがやき園	イベントへの出店参加
ぴあとぴあ 17	イベントへの出店参加
NPO 法人 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	体験談報告
NPO 法人 札家連	体験談報告
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会	体験談報告
社会福祉法人 地域生活支援センター・ハート釧路	分科会実施
きらりの集い in 沖縄 2018 主催：Team きらり OKINAWA	分科会実施

団体名	摘要
リカバリー全国フォーラム 2017 主催：認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉 機構 (コンボ)	分科会実施
メディフェス 2007 in 平塚 主催：湘南ひらつかメディフェス実行委員会	分科会実施
こころのピアサポートフォーラム 2018 in 北海道 主催：一般社団法人 北海道ピアサポート協会	分科会実施
株式会社 植松電気	ペーパーロケット製作
LITALICO ワークス	イベントへの出店参加
日本精神保健看護学会	シンポジウム
北海道精神保健協会	機関誌発送業務
朝日新聞	記事掲載
日本障害者リハビリテーション協会	記事掲載

### ○講義実績

団体名
札幌医科大学 (OT)
札幌学院大学 (PSW)
星槎道都大学 (PSW)
日本医療大学 (PSW)
北海道医療大学 (Ns, OT, PSW)
北星学園大学 (PSW)
北翔大学 (PSW)
吉田学園千歳リハビリテーション学院 (OT)
吉田学園北海道リハビリテーション大学校 (PSW)
一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会
恵庭市障がい者総合相談支援センター e-ふらっと
公益社団法人 北海道家庭生活総合カウンセリングセンター
社会福祉法人 アンビシャス
岩見沢ピアカウンセリング研修

### ○撮影・映像制作

団体名	内容
医療法人薪水 浦河ひがし町診療所	撮影・映像制作
NPO法人 さっぽろ自由学校	研修中継・DVD制作
(株)アカツキ交通	撮影・映像制作
高次脳リハビリテーション講習会	撮影・映像制作
社会福祉法人 麦の子	映像編集・DVD制作
就労継続支援B型 クッキーハウス ぶどうの木	撮影・映像制作

団体名	内容
就労継続支援 A 型事業所 なにわ亭	撮影・映像制作
市内保育園・幼稚園収録 (21ヶ所)	収録・販売用 DVD 制作
少年野球団	映像制作・冊子製作
生活自立支援 就労継続支援 B 型事業所「まほろば」	撮影・映像制作
札幌市ひきこもり地域支援センター・ 北海道ひきこもり成年相談センター	撮影・映像制作
多機能型就労支援事業所 ハピネスロード	撮影・映像制作
日本精神保健看護学会	撮影・映像制作
PEER+design	撮影・映像制作
北海道精神保健福祉士養成校協会	撮影・映像制作
北海道ピアサポーター研修会	撮影

### ○実践報告・調査研究

第 53 回公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 全国大会／第 16 回日本精神保健福祉士学会学術集会

### ○主な自主制作作品

作品名	概要
「ラップでつなぐ未来 ～思いでつながる人と人～」	メディアフェス 2007 in 平塚に提出
「幸せのアリカ」	小樽ショートフィルムに提出
アハ体験 DVD	DVD 販売

### ○ラジオ放送

放送局／周波数	タイトル／放送日時	概要
エフエムしろいし 83.0MHz	「つながるここプロラジオ」 生放送／毎週（火） 15:00～16:00 再放送／毎週（土） 16:00～17:00	H29 年 4 月 5 日 より放送開始
	「それゆけスマイルランチ」 生放送／毎週（水） 11:30～12:30	H29 年 9 月 6 日 より放送開始

### ○見学者来所状況

	総人数	通所 希望者	関係機関	教育機関	実習生	ボラン ティア	デイケア メンバー	その他
4 月	7	1	2	2			2	
5 月	15		4	11				
6 月	9	1	2	3	3			
7 月	5	1			2	1		1
8 月	12	1	3	7	1			
9 月	10	1	3	4	2			
10 月	15		1	3	3			8

	総人数	通所希望者	関係機関	教育機関	実習生	ボランティア	デイケアメンバー	その他
11月	11	1		1	6			3
12月	8	1	5	1	1			
1月	6	2	4					
2月	6		5		1			
3月	6		1	2	2		1	
計	110	9	30	34	21	1	3	12

## ② 就労移行支援事業所（ココスタ）の運営

開設から1年が経過し、登録者も一時期3名となった。その後2名が病状等により中断した。3月に入り、1名は、10日間の企業実習を経て、一般企業に就職した。今後は、定着支援を継続するとともに、新規のメンバーの支援を行っていく。

なお、3月末に、平成30年度新規事業である、「就労定着支援事業所」の申請を行い、B型事業所のここプロ内に付設することとしている。これにより移行、B型等を経て一般企業へ就職したメンバーへの継続した支援を展開していく予定である。事業所内での訓練に終始せず、企業実習、障害者職業センターのプログラムを一部活用するなど、実践的なプログラムを実施していく。

## (2) 相談支援事業所の運営

### ① ココクルの運営

当法人では「精神障害者等の社会参加の促進」を目的としており、これまでデイケア通所者や家族等からの相談に応じているところであるが、障害者総合支援法に基づき、就労支援事業やグループホーム等の障害福祉サービスの利用促進を図るため、平成28年6月から相談支援専門員による一般及び特定相談支援体制を整備し、専門性が高く、よりきめ細かい支援を行う相談支援事業所を運営している。

平成29年度の実績としては下記のとおりとなっている。

### ○相談実績（件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	5	1	2	0	0	0	1	1	0	1	1	0	12
電話・メール相談	4	4	7	10	3	3	6	4	6	9	14	2	72
面接相談	22	15	17	11	8	7	7	13	7	11	10	15	143
訪問支援	4	7	14	7	3	7	3	10	6	5	5	7	78
関係機関との連絡	4	4	6	2	8	7	13	14	7	8	11	4	88

## 2 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及

### イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業

#### ① 地域精神保健スタッフ等研修事業

##### a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座

(単位：人)

月	日	曜日	内 容	場 所	参加者数
8	26	土	家族療法を学ぶシリーズ研修第1回 「使える、役に立つ。家族療法を学ぼう！～基礎編～」	教育文化会館	34

#### ② 実習生、見学の受け入れ事業

##### a 施設見学等来所者状況

月	日	曜日	内 容	数
5	16	火	札幌市子ども未来局職員	2
7	20	木	絵画クラブ講師	1
8	1	火	帯広市議会議員	6
8	8	火	多機能型事業所ピアデザインスタッフ・実習生	2
8	15	火	ストレッチポール講師	1
8	23	水	韓国サンミョン大学講師視察	8
9	5	火	ミネルバ病院職員	3
9	8	金	ストレッチポール講師	1
9	21	木	共同住宅ソアレ職員	1
9	25	月	放送作家（お試し新喜劇講師）	1
10	24	火	精神科認定看護師教育課程施設見学	1
12	13	水	カウンセリングセンター受講生	5
12	22	金	英会話クラブ講師	1
1	9	火	自由ヶ丘学園三和高校教員	1
1	19	金	ストレッチポール講師	1
2	2	金	ストレッチポール講師	1
3	23	金	企業（シヤチハタ）職員	2
合 計				38

##### b 実習生受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ

(単位：人)

福祉系学科（北海道医療大学、札幌学院大学、日本福祉学院、道都大学、旭川大学、札幌心療福祉専門学校）	6
作業療法学科（北海道大学、札幌医科大学、北海道リハビリテーション大学校）	20
看護学科（北海道医療大学）	8
医学部（北海道大学）	5
合 計	39
実習事前訪問対応	9回
実習指導者会議等出席	3回



③ 各種研修会への講師派遣及び企画運営の支援事業

社会福祉団体など関係機関の要請に基づき研修会への講師派遣や企画運営等への協力・技術支援を行っているが、平成29年度は、ひきこもり、高次脳など主管事業において実施した。

④ 市民講座の開催

精神保健福祉思想の啓発普及のため、一般住民を対象として精神保健福祉に関する公開講座を年1回予定していたが、講師との調整等により実施出来なかった。

⑤ 障害者のスポーツ振興への協力

精神障害者のスポーツ振興の意味も含め、精神障害者団体への体育館貸出などへの協力を検討中である。

⑥ 地域移行研修会、エリア別研修会、ピアサポーター研修会の開催

(北海道精神障がい者地域生活支援事業(地域移行研修事業))

a 地域移行研修会

日時	会場(圏域)	参加者 (当事者数)	内容
H29.7.13(木) H29.7.14(金)	岩見沢市コミュニティプラザ (南空知)	29名 (9)	○ピアカウンセリング研修 講師:就労継続B型事業所こころカ・プロダクションメンバー・職員
H29.7.26(水)	砂川総合福祉センター (中空知)	28名 (18)	○話題提供・グループワーク 話題提供「改めてピアサポートの可能性を考える」 発表者;一般社団法人北海道ピアサポート協会代表理事 グループワーク・全体会
H29.8.9(水)	市立稚内病院研究室 (宗谷)	20名 (2)	○演習・活動報告 「事例を通して精神障がい者の支援を考える」 話題提供者;サポートセンターゆかり 職員 助言者;こころのリカバリー総合支援センター所長 「道内の精神障がい者地域生活支援事業の現状～ピアサポーターの活動を中心に～」 報告者;こころのリカバリー総合支援センター職員
H29.9.5(火)	新ひだか町役場 (日高)	33名 (1)	○実践報告 「精神障がい者の地域移行支援の実際 ～東胆振圏域における医療と福祉の連携の実践から～」 報告者;苫小牧地域生活支援センター センター長 医療法人こぶし植苗病院 精神保健福祉士
H29.10.12(木)	遠軽町保健福祉総合センター げんき21 (遠紋)	33名 (2)	○講義 「病棟がなくなる!! 地域で精神障害者を支える ～浦河ひがし町診療所の実践から～」 講師;医療法人薪水浦河ひがし町診療所精神保健福祉士
H29.10.23(月)	むろらん広域センタービル (西胆振)	23名 (0)	○講義・意見交換・質疑応答 「俱知安厚生病院における退院支援の実際」 講師;JA 北海道厚生連俱知安厚生病院 看護科長
H29.10.24(火)	旭川市障害者福祉センターおびつた (上川中部)	46名 (11)	○活動報告・グループワーク 「十勝における地域移行支援について」 報告者;帯広生活支援センター センター長・ピアサポーター 「上川中部圏域における地域移行支援について」 報告者;旭川地域生活支援センター センター長

日 時	会 場 (圏域)	参加者 (当事者数)	内 容
H29.12.5(火)	北斗市総合文化センターかなで〜 (南渡島)	37名 (4)	○活動報告・グループワーク 「植苗病院における地域移行支援の実際から」 報告者；医療法人こぶし植苗病院 精神保健福祉士 看護師長
H30.2.8(木)	名寄市立病院 (上川北部)	45名 (9)	○講義と演習 「元気回復行動プラン (WRAP) を学ぼう」 講師；道内在住 WRAP ファシリテーター (当事者)
H30.2.16(金)	道立江差病院 (南檜山)	27名 (1)	○講義と意見交換 「意義を知って有効活用〜あらためて『自立支援協議会』について学ぼう」 講師；檜山圏域障がい者総合支援センター「めい」地域づくりコーディネーター
H30.2.22(水)	苫小牧市民活動センター (東胆振)	17名 (2)	○講義 「北海道における精神障がい者地域生活支援の概要について」 報告者；こころのリカバリー総合支援センター職員
H30.3.2(金)	八雲総合病院 (北檜山渡島圏域)	※悪天候により中止	○講義・実践報告・グループワーク 講義「精神保健における地域包括ケアについて」 講師；こころのリカバリー総合支援センター所長 報告「八雲総合病院の精神科病棟の実際について」 報告者；八雲総合病院 精神保健福祉士 報告「退院を見据えた病院ぐるみのケア」 報告者；北海道八雲保健所 健更新係長 報告「4町の精神障害者の地域移行支援について」
H30.3.9(金)	とちちプラザ (釧路・根室・十勝)	12名 (9)	○実践報告と意見交換 「北海道の地域移行支援事業の状況〜ピアサポーターの活動を中心に〜」 報告者；こころのリカバリー総合支援センター職員 「活動のヒントになる実践報告」 報告者；一般社団法人北海道ピアサポート協会
H30.3.22(木)	ラベンダーの郷 (富良野)	13名 (2)	○研修報告・話し合い 「平成29年度精神障がい者地域生活支援事業地域移行エリア別研修会報告」 報告者；こころのリカバリー総合支援センター 職員
H30.3.23(金)	介護老人保健施設 クリアコート (札幌)	56名 (3)	○実践報告・質疑応答・意見交換 「当院における地域移行支援の実際から」 報告者；社会法人こぶし植苗病院 精神保健福祉士 病棟師長 苫小牧地域生活支援センターピアサポーター 「千歳地域生活支援センターの活動紹介」 報告者；千歳地域生活支援センター職員・ピアサポーター
H30.3.27(火)	端野病院 (北網)	30名	○実践報告・DVD 上映 「北見市における精神障がい者の生活支援の実際について」 報告者；地域生活支援センターサポートネット北見センター長

## b エリア別研修会

日 時	会 場	参加者	内 容
H29.8.24(木) 〜25(金)	旭川市ときわ市民 ホール (旭川市)	61名 (9)	○講義と実践報告・演習 講師；一般社団法人支援の三角点設置研究会 相談支援事業所 Reve 相談支援専門員・精神科認定看護師

日時	会場	参加者	内容
H29.10.19(木) ～20(金)	函館市水産物地方 卸売市場（函館市）	19名 (2)	○講義と実践報告・演習 講師；一般社団法人支援の三角点設置研究会 一般社団法人ソラティオ相談支援専門員
H29.11.9(木) ～10(金)	かでの 2.7 (札幌市)	72名 (15)	○講義と実践報告・演習 講師：一般社団法人支援の三角点設置研究会 相談支援事業所 Reve 相談支援専門員・精神科認定看護師

### c ピアサポーター研修

年月日	参加者 (当事者再掲)	開催場所	内容
H29.9.27(水) ～9.29(金)	94名 (74)	札幌市教育文化会館	<b>1日目</b> 【開会式・オリエンテーション】 【GW1】「日頃のピアサポーター活動について報告し合おう」 【ピアサポーターの専門性は何だと思えますか？Part1】 【交流会】 <b>2日目</b> 【実践報告】「他県のピアサポート活動に学ぶ～洲本市(兵庫県)のピアサポーターの実践～」 報告者：森の木ファーム株式会社多機能型事業所クラシカラ生活支援員 【GW2】「ピアサポーター経験・年数別話し合い」 【ピアサポーターの専門性は何だと思えますか？Part2】 【GW3】「事例検討」 <b>3日目</b> 【ピアサポーターの専門性は何だと思えますか？Part3】 【シンポジウム】「ピアサポートの未来～地域移行が終わったとしても～」 【閉会式】

## ⑦ 精神障害者等に関する調査・研究事業

### a ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対してのモチベーション・サポート実践～多施設合同研究事業

目的	精神科での長期入院患者（いわゆる社会的入院）に対して、病棟内でのグループセッション（茶話会）を定期的実施することで、患者及び関係スタッフの退院（地域移行）へのモチベーションを高めるより良い方法論を探る。基礎となる研究をすでに2年間、単独で行い、一定の成果を得たので、新たに3クリニックが協働し、多施設合同研究として行うことにより、研究の拡大を図る。（※3クリニック～こころのリカバリー総合支援センター、札幌なかまの杜クリニック、ほっとステーション）
事業内容	研究目的を共有した上で、ピアサポーターと支援スタッフ（3クリニック所属の専門職）で構成する3チームがそれぞれに協力病院にグループ訪問を行う。協力病院にはいわゆる社会的入院患者を「茶話会」に誘ってもらい、グループとして関係性を構築していくことで、彼らの地域生活への意欲を高めると同時に、協力病院等の専門職（病棟看護師など）が精神障害者の持つ可能性を自ずと発見できる環境を形づくっていく。事業実施後、病院訪問中で、患者だけでなく、関わったピアやスタッフの内面にどのような変化があったかを、インタビューとアンケートで測定し、纏める。（実施期間平成29年12月～平成31年3月）

経過報告	6月28日 3クリニック合同スタッフ打ち合せ
	12月18日 3クリニック合同スタッフ打ち合せ
	2月2日 ピアの会（リカバリーのピアサポ）打ち合わせ（ピアサポ7名参加）
	2月21日 協力病院への説明会（ピアサポ2名参加）
	2月27日 3クリニック合同打ち合せ（ピアサポ13名参加） ※協力ピアサポーター16名

□ 高次脳機能障害者支援事業等

① 相談窓口及びリハビリ提供・地域生活支援事業【在宅生活支援事業】

1. 支援プログラムの実施状況及び相談件数

○リハビリテーションプログラム実施状況（※通所登録者数は各月末時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所登録者（人）	16	16	16	16	16	16	16	15	15	14	13	13	
実施回数（回）	20	20	23	21	22	20	22	20	20	19	19	21	247
延べ人数（人）	74	75	90	52	55	46	46	54	68	59	68	76	763
1日平均通所者（人）	3.7	3.8	3.9	2.5	2.5	2.3	2.1	2.7	3.4	3.1	3.6	3.6	

※終了者としては就労継続事業所へ移行し定着したため終了に至ったケースがあった。

【プログラムの内容】

AM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

（カラオケ、カードゲーム、茶話会等）

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動（バドミントン、バレー、卓球等）

小グループ（20名以下）による話し合いで構成される活動（料理、話し合い、外出等）

認知訓練 グループで行う認知訓練、個別プリント課題、FEP など

軽スポーツ エクササイズやヨガ等のゆるやかな運動

目的別の登録制のグループ活動（就労プログラム、心理教育、WRAP 等）

PM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

（カラオケ、カードゲーム、茶話会等）

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動（バドミントン、バレー、卓球等）

行事の企画運営グループ等

創作活動（陶芸、絵画、工芸）、

話し合い系活動（歴史、英会話、茶道等）火曜日、木曜日

行事への参加：宿泊行事 センター祭 体育大会

※通所日数は、他機関との併用、体力や精神的疲労の度合いなど個々の状況に合わせて決定している。その中で複数あるプログラムから自分に適したプログラムを選択し参加する。（必要に応じスタッフがプログラム選択の助言を行う）

## ○相談支援件数と内容

	計
電話（家族・本人）	55
電話（関係機関）	25
来所相談	75
文書・メール	3
見学（家族・本人）	3
見学（関係機関）	0
計	161

### 【相談内容】

- ・本人～対人関係や生活上の悩みや不安、就労等への準備、日常生活における計画や手順の工夫など
- ・家族～関わりの苦勞、工夫を聴くほか、本人と他の家族との意思疎通や目標確認
- ・医療機関（脳神経外科・リハ科・精神科病院、クリニック）～退院後の支援、リハビリテーションについて
- ・行政機関、就労支援・介護支援・相談支援事業所～受け入れ先について、対応困難なケースについて

## ○同行支援・家庭訪問と内容

- ・公共交通機関の利用のための評価及び家庭での生活状況の確認や家事等の本人の自立に向けた助言、指導を行った。

## ○精神科医による診察

- ・外来診察 【33件】

近年はデイケア利用者だけではなく、定期的な診察や生活支援のために利用する方も増えている。手帳の申請や、裁判に係る意見書を作成。

## 2. 支援計画の作成と評価

### ○新規支援計画の作成

医師の診断とコメディカルによる認知機能、ADL 評価を行い、今後必要とされる地域資源やリハビリプログラムの検討を行った。⇒関係機関との連絡調整中

### ○本人・家族の目標設定と振り返り

	実 施 内 容
4月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
4月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）
10月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
10～11月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）

## 3. 支援調整・検討会議の開催

### ○施設内支援検討会議

	回数	実 施 内 容
4月	8	支援計画作成、支援計画の評価検討、対応の検討
5月	9	対応の検討
6月	14	対応の検討
7月	8	対応の検討
8月	8	対応の検討
9月	9	対応の検討

	回数	実施内容
10月	4	対応の検討
11月	7	支援計画作成、支援計画の評価検討、対応の検討、ケース会議
12月	9	支援計画作成、支援計画の評価検討、対応の検討、ケース会議
1月	3	対応の検討、ケース会議
2月	2	対応の検討
3月	3	対応の検討、支援計画作成

### ○他機関との支援調整会議

実施日	参加機関	内容
4月21日	休職中企業職員2名、当センター、本人、母	情報交換と今後の支援についての話し合い
11月16日	休職中企業2名、病院ワーカー、訪問看護2名、当センター、本人	今後の支援についての話し合い
12月22日	休職中企業2名、当センター、本人、母	就労についての話し合い
3月7日	回復期病院	生活支援に関する情報提供
3月23日	休職中企業職員2名、当センター、本人	近況確認

### ○その他他機関との連携

実施日	関係機関	内容
5月26日	地域包括支援センター	支援ケースについての相談
9月5日	回復期病院	患者の今後の支援先についての相談
10月23日	拠点機関病院	支援ケースの評価についての情報交換
10月23日	市町村	支援ケースについての情報交換
11月13日	市町村	支援状況についての情報交換
12月6日	ジョブコーチ	担当ケースの対応についての相談

## 4. 関係機関相互の情報交換及び参加研修会等

実施日	実施内容	主催
5月19日	高次脳機能障がい者支援事業委託事業者打ち合わせ会議	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課
6月28日	平成28年度 第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	国立障害者リハビリテーションセンター
6月28日	平成28年度 第1回支援コーディネーター全国会議	国立障害者リハビリテーションセンター
7月12日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
8月19日	札家連精神療養講座（当事者の講演）	札家連
9月1日	平成29年度高次脳機能障がい者支援連絡会議	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課
9月6日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
10月1日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
11月1日	高次脳機能障害者 リハビリテーション講習会実行委員会	リハ講習会実行委員会
12月2日	北海道 高次脳機能障害 リハビリテーション講習会	リハ講習会実行委員会
2月24日	作業療法神経科学研究会 第9回研修会	作業療法神経科学研究会

## 5. 支援ネットワークの構築

ホームページやパンフレット、研修会等で当施設を知った関係機関からの支援法や情報を求める連絡を受け、これまで確立したネットワークをもとに情報の伝達を行った。また、ケースを通じて就労継続事業所や保健師、介護支援専門員、訪問リハスタッフなどで支援目標の確認を共同で行うことや研修会の企画を共同で行うことで、お互いに相談でき対応の調整がしやすくなった。

## 6. 地域相談担当者やサービス提供事業所への支援状況

内容：難病連 分科会

もやもや病 患者と家族の会北海道ブロックへの講師派遣を行った。

日時：平成 29 年 8 月 6 日

講演内容：「より生活しやすくなるために～知っておきたい高次脳機能障害」

講師及び助言者：作業療法士 浅井直美

## ハ ひきこもり対策推進事業

### ① 北海道ひきこもり成年相談センターの運営

### ② 札幌市ひきこもり地域支援センターの運営

#### a 相談支援実施状況

##### 1. 相談支援概要

#### ○相談件数（北海道）（単位：件）

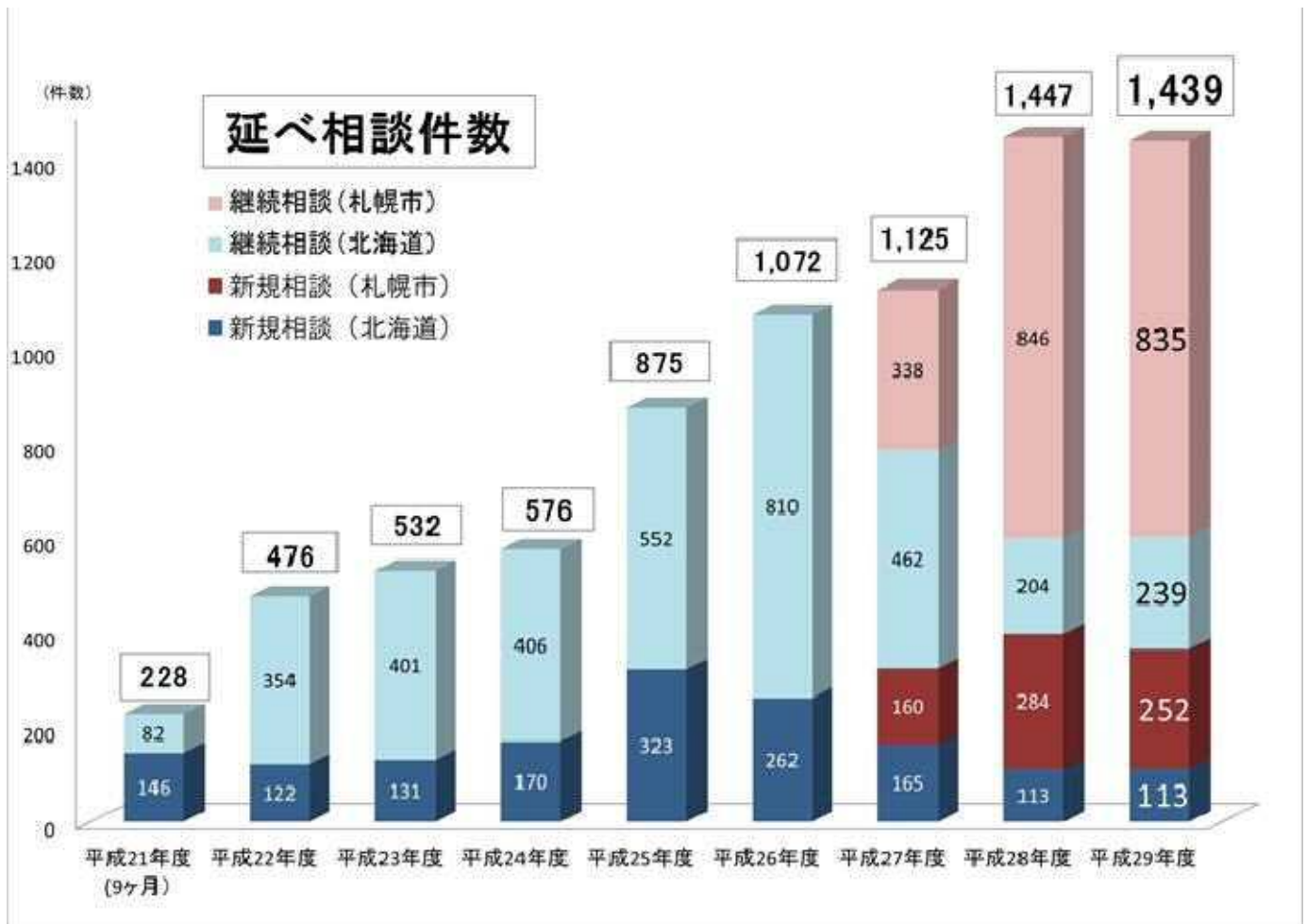
相談件数計	352
新規相談	113
継続相談	239

#### ○相談件数（札幌市）

相談件数計	1,087
新規相談	252
継続相談	835

#### ○相談件数（合計）

相談件数計	1,439
新規相談	365
継続相談	1,074



## 2. 相談方法別内訳

### ○相談方法内訳 (北海道)

	新規相談	継続相談	計	構成比 (%)
電話	82	43	125	32.8
来所	0	65	65	17.1
メール	17	112	129	33.9
アウトリーチ	10	18	28	7.3
出張相談等	4	1	5	1.3
小計	113	239	352	
連携	-	29	29	7.6
ケア会議	-	-	-	-
小計	-	29	29	
総計	113	268	381	100



○相談方法内訳（札幌市）

	新規相談	継続相談	計	構成比(%)
電話	206	165	371	32.6
来所	3	348	351	30.8
メール	29	303	332	29.2
アウトリーチ	-	17	17	1.5
出張相談等	14	2	16	1.4
小計	252	835	1087	
連携	-	51	51	4.5
ケア会議	-	-	-	-
小計	-	51	51	
総計	252	886	1138	100

○相談方法内訳（合計）

	新規相談	継続相談	計	構成比(%)
電話	288	208	496	33.3
来所	3	403	416	27.9
メール	46	415	461	30.9
アウトリーチ	-	35	45	3.0
出張相談等	18	3	21	1.4
小計	355	1064	1439	
連携	-	80	80	5.4
ケア会議	-	-	-	-
小計	-	80	80	
総計	335	1144	1490	100

3. 相談時間

○相談時間（北海道）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	31	40	47	7	125	52:21	25分
来所			6	59	65	76:35	1時間11分
メール	86	32	9	2	129	29:50	14分
アウトリーチ		1	3	24	28	43:5	1時間32分
出張相談等		1	2	2	5	4:30	54分
連携	19	6	3	1	29	7:00	15分
計	136	80	70	95	381	212:21	33分

○相談時間（札幌市）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	115	123	115	18	371	147:59	24分
来所	0	1	31	319	351	397:55	1時間8分
メール	233	81	17	1	332	68:5	12分
アウトリーチ	0	0	1	16	17	34:5	2時間3分
出張相談等	0	3	1	12	16	16:40	1時間3分
連携	26	14	9	2	51	14:25	17分
計	374	222	174	368	1138	679:9	36分

### ○相談時間（合計）

	0～ 15分未満	15～ 30分未満	30～ 60分未満	60分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	146	163	162	25	496	200:20	25分
来所	0	1	37	378	416	474:30	1時間10分
メール	319	113	26	3	461	97:55	13分
アウトリーチ	0	1	4	40	45	77:10	1時間48分
出張相談等	0	4	3	14	21	21:10	59分
連携	45	20	12	3	80	21:25	16分
計	510	302	244	463	1519	882:30	35分

## 4. 相談者内訳

### ○相談時間（北海道）

	件数	構成比 (%)
本人	33	29.2
父	12	10.6
母	30	26.5
両親	0	0%
兄弟姉妹等	16	14.2
配偶者	0	0%
その他	22	19.5
計	113	100

### ○相談時間（札幌市）

	件数	構成比 (%)
本人	43	17.1%
父	24	9.5%
母	123	48.8%
両親	2	0.8%
兄弟姉妹等	30	11.9%
配偶者	2	0.8%
その他	28	11.1%
計	252	100%

### ○相談時間（合計）

	件数	構成比 (%)
本人	76	20.8%
父	36	9.9%
母	153	41.9%
両親	2	0.5%
兄弟姉妹等	46	12.6%
配偶者	2	0.5%
その他	50	13.7%
計	365	100%

## 5. 当事者の年齢

### ○当事者の年齢（北海道）

	男	女	不明	計	構成比(%)
10歳未満	0	0	0	0	0.4%
10歳以上～15歳未満	1	2	0	3	3.6%
15歳以上～20歳未満	6	5	0	11	10.3%
20歳以上～30歳未満	30	10	0	40	33.7%
30歳以上～40歳未満	16	13	0	29	18.3%
40歳以上～50歳未満	6	6	0	12	19.0%
50歳以上～60歳未満	2	3	0	5	5.6%
60歳以上	4	0	0	4	2.4%
不明	2	3	4	9	6.7%
計	67	42	4	113	100%

### ○当事者の年齢（札幌市）

	男	女	不明	計	構成比(%)
10歳未満	1	0	0	1	0.4%
10歳以上～15歳未満	7	2	0	9	3.6%
15歳以上～20歳未満	17	9	0	26	10.3%
20歳以上～30歳未満	64	20	1	85	33.7%
30歳以上～40歳未満	37	9	0	46	18.3%
40歳以上～50歳未満	39	9	0	48	19.0%
50歳以上～60歳未満	11	3	0	14	5.6%
60歳以上	3	3	0	6	2.4%
不明	6	9	2	17	6.7%
計	185	64	3	252	100%

### ○当事者の年齢（合計）

	男	女	不明	計	構成比(%)
10歳未満	1	0	0	1	0.3%
10歳以上～15歳未満	8	4	0	12	3.3%
15歳以上～20歳未満	23	14	0	37	10.1%
20歳以上～30歳未満	94	30	1	125	34.2%
30歳以上～40歳未満	53	22	0	75	20.5%
40歳以上～50歳未満	45	15	0	60	16.4%
50歳以上～60歳未満	13	6	0	19	5.2%
60歳以上	7	3	0	10	2.7%
不明	8	12	6	26	7.1%
計	252	106	7	365	100%

## 6. 当事者の居住地

### ○当事者の居住地（北海道）

圏域	
石狩	30
空知	9
後志	10
胆振	12
日高	3
渡島	5
上川	9
留萌	1
オホーツク	6
十勝	3
釧路	2
根室	0
檜山	3
宗谷	1
道内	2
道外	6
不明	11
計	113

### ○当事者の居住地（札幌市）

本人居住地	件数
札幌市内	47
札幌市白石区	29
札幌市豊平区	22
札幌市厚別区	20
札幌市手稲区	12
札幌市清田区	10
札幌市中央区	16
札幌市東区	23
札幌市西区	18
札幌市南区	22
札幌市北区	33
計	252

## 7. 連携状況

### ○連携状況（北海道）

他機関への繋ぎ	件数
保健所	9
医療機関（精神科）	4
家族会	2
地域若者サポートステーション	2
生活困窮者相談窓口	1
計	18

他機関からの繋ぎ	件数
生活困窮者相談窓口	5
保健所	3
市役所	3
地域包括支援センター	2
家族会	2
医療機関（精神科）	1
児童通所支援事業所	1
相談支援事業所	1
地域若者サポートステーション	1
NPO 法人	1
計	20

### ○連携状況（札幌市）

他機関へのつながり	件数
医療機関（精神科）	9
札幌市（各区職員）	7
地域若者サポートステーション	3
ハローワーク	3
生活就労支援センター	3
相談支援事業所	1
医療機関（他科）	1
計	27

他機関からのつながり	件数
札幌市（各区職員）	13
医療機関（精神科）	7
介護事業所	5
生活就労支援センター	4
医療機関（他科）	4
就労継続支援事業所	2
地域若者サポートステーション	2
NPO 法人	2
相談支援事業所	2
札幌市外（各職員）	1
市議会議員	1
ハローワーク	1
カウンセリング機関	1
計	45

## 8. ひきこもり相談から当法人の精神科デイケアを活用したケース

### ○精神科デイケアへの通所（北海道）

	人数
平成 29 年度	2
平成 21～28 年度	33
計	35

### ○精神科デイケアへの通所（札幌市）

	人数
平成 29 年度	3 名
平成 27～28 年度	9 名
計	12 名

### ○精神科デイケアへの通所（合計）

	人数
平成 29 年度	5 名
平成 27～28 年度	42 名
計	47 名

### ○ひきこもり外来状況（北海道）

年 度	平成 21 年～28 年度	平成 29 年度	計
延べ回数	265 回	17 回	<b>282 回</b>
新規ケース	49 名	8 名	<b>57 名</b>

### ○ひきこもり外来状況（札幌市）

年 度	平成 27～28 年度	平成 29 年度	計
延べ回数	74 回	102 回	<b>176 回</b>
新規ケース	16 名	18 人	<b>34 名</b>

### ○ひきこもり外来状況（合計）

年 度	平成 21 年～28 年度	平成 29 年度	計
延べ回数	339 回	119 回	<b>458 回</b>
新規ケース	65 名	26 名	<b>91 名</b>

## b 支援ネットワークの構築等

### 1. ネットワーク構築状況

月	日	実施内容	備考
4	13	札幌医療大学 大学院生「ひきこもり調査」インタビュー協力 (当センター当事者A氏 対応)	1名来所
4	19	宮城県精神保健福祉センター 問い合わせ(事業内容について、特にひきこもりデイケア)	電話
4	19	北海道障がい者保健福祉課より 問い合わせ (アウトリーチの判断基準、件数、 関係機関との連携数やフォローアップの有無)	電話
5	2	札幌市子ども未来局 職員来所(施設見学等)	2名来所
5	25	石狩市にて打ち合わせ (石狩市こども相談センター、北海道障がい者保健福祉課)	計4名打ち合わせ
7	3	北海道社会福祉協議会 企画総務課 2018年度版「社会福祉手帳」 「民生委員・児童委員手帳」団体情報掲載の更新	FAX
8	1	帯広市議会	6名来所
8	8	一般社団法人北海道ピアサポート協会 多機能型事業所 PEER+design	2名来所
9	21	札幌市子ども未来局 職員より問い合わせ(支援状況等)	電話
9	29	東京都青少年治安対策本部総合対策部青少年課より問い合わせ (①実際の取り組みについて ②対象年齢について)	電話
11	9	札幌市子ども未来局 職員来所(次年度打ち合わせ)	2名来所
12	14	札幌市子ども未来局 訪問(次年度打ち合わせ)	2名で訪問
1	24	札幌市若者支援総合センター ケース検討会	1名で訪問
3	8	札幌市子ども未来局 訪問(次年度打ち合わせ)	2名で訪問
3	9	厚生労働省 社会・援護局地域福祉課より依頼 (引きこもり支援を行う民間団体の取り組み状況等に関する状況確認について)	
3	19	北広島市保健福祉部福祉課 ケース相談についての連絡 (本人札幌市在住のケースについて)	電話

## 2. ひきこもり出張無料相談会実施状況（札幌市）

当センターの通常相談の開設日は平日の日中である。相談者によっては、平日の日中は「仕事があり相談ができない」等、多様なニーズが考えられる。そのため、「ひきこもり出張無料相談会」は各回、「土曜日開催」として実施した。

「ひきこもり出張無料相談会」の実施にあたっては、当センターのホームページ、広報さっぽろ（誌面、地デジ、アプリ）、10区役所・10区民センターおよび他関係機関へのチラシ配布等で周知を行った。なお、各回いずれも相談員2名で対応した。

月	日	実施内容	備考
5	20	対象地区：清田区・白石区 場 所：清田区民センター	・申込0
7	15	対象地区：南区・中央区 場 所：南区民センター	・申込6 (うち相談1、メール相談切替1、 電話相談切替4)
9	2	対象地区：手稲区・西区 場 所：手稲区民センター	・申込4 (うち相談4)
9	22	対象地区：全区（当日申込） 場 所：豊平区民センター	・申込1 (うち相談1)
11	18	対象地区：北区・東区 場 所：北区民センター	・申込9 (うち相談5、関係機関紹介1、 来所相談切替3)
3	10	対象地区：厚別区・白石区 場 所：厚別区民センター	・申込7 (うち相談4、電話相談切替2、 関係機関紹介1) ・問い合わせのみ1

○当年度の「ひきこもり出張無料相談会」は「申込」が27件、「出張相談」が15件あった。

## 3. ひきこもり支援者連絡会議実施状況

今年度は、「ひきこもり相談会・研修会」として、各保健所および市町村に希望確認をし、希望のあった地域と連絡調整をし、相談会等を実施した。

月	日	実施内容	備考
7	26	江差町 ひきこもり相談会（江差保健所）	・検討（1ケース）
7	31	留萌市 不登校・ひきこもりを理解する講演会 個別相談（留萌保健所）	・研修会内で相談先として紹介 ・訪問（1ケース）
8	9	稚内市 「ひきこもり」の理解とその支援（稚内保健所）	・研修会講師
8	30	津別町 ひきこもり相談会（津別町社会福祉協議会）	・訪問（1ケース） ・検討（2ケース）



月	日	実施内容	備考
8	31	帯広市 「ひきこもり」の理解と地域連携（帯広市役所）	・研修会講師
9	12	紋別市 「ひきこもり」への理解（紋別保健所）	・研修会講師
9	13	北見市 ひきこもり支援の対応のあり方など （オホーツク相談センター ふくろう）	・研修会講師 ・ケース検討等
10	18	小樽市 ひきこもり相談会・事業説明会（小樽市保健所）	・事業説明会 ・出張相談（4ケース）
11	2	鷹栖町 「ひきこもり」研修会（鷹栖町 健康福祉課）	・研修会講師 ・ケース検討等
11	8	小樽市 子供のひきこもりを考える家族セミナー （小樽市保健所）	・家族会セミナーの研修会 講師
11	21	今金町 ひきこもり相談会（八雲保健所）	・出張相談（1ケース） ・検討（1ケース）
11	22	室蘭市 ひきこもり家族学習会（胆振総合振興局）	・出張相談（2ケース） ・家族交流会 講師
12	6	渡島地域 ひきこもり相談会（渡島保健所）	・検討（1ケース）
1	19	苫小牧市 学習会（苫小牧保健所）	・家族会交流会 講師 （まゆだまの会）
3	15	旭川市 ひきこもり家族学習会（旭川市保健所）	・研修会講師
3	17	北広島市 ひきこもり支援の実際 （北広島市保健福祉部福祉課）	・研修会講師

#### 4. ひきこもり支援関係者研修会実施状況

月	日	実施内容	備考
2	24	平成29年度 ひきこもり支援機関関係職員等研修会 「知りたいことを学ぼう」研修会（講義とグループワーク）	参加者59名 （札幌市外14名※ 札幌市45名） ※当日 JR 運休により予 定より減っている

#### 5. ひきこもり関連会議参加状況

月	日	実施内容	備考
6	29	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第1回実務者会議	1名参加
6	30	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（横浜市）	1名参加
8	2	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第2回実務者会議	1名参加

月	日	実施内容	備考
11	28	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第3回実務者会議	1名参加
12	11	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（神戸市）	1名参加
3	7	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第4回実務者会議及び代表者会議	1名参加

## 6. 講師派遣状況等

月	日	実施内容	備考
7	11	青森県立精神保健福祉センター	1名派遣
9	26	札幌市精神障害者地域生活支援連絡協議会 研修会「ひきこもりについて」	1名派遣
11	27	札幌市白石区自立支援協議会 研修会「ひきこもりについて」	2名派遣
12	5	札幌市清田区自立支援協議会 研修会「ひきこもりについて考える」	2名派遣
1	27	札幌市 例会（KHJ親の会 北海道はまなす）	2名派遣
1	30	「ひきこもり」の理解と支援の実際（札幌市保護観察所）	1名派遣
3	8	札幌市白石区 第一包括支援センター 研修会 「ひきこもり支援センターの役割や事例を通しての勉強会」	2名派遣

## 7. 外部研修参加状況等

月	日	実施内容	備考
7	27 28	「ひきこもり支援技術向上のための研修会」 主催：KHJひきこもり全国家族会連合会	1名参加
10	29	「ピアが織りなすチカラとともに働きあうジョブサポート」 主催：NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	1名参加
11	12	第2回中高年ひきこもり当事者のライフプラン学習会 「地域おこしは人おこし」 主催：NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	1名参加
11	25	ひきこもり学習会『ひきこもりと発達障害』 主催：NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	1名参加
3	18	「“地域”から”ひきこもり長期高齢化”を考える」 主催：KHJひきこもり全国家族会連合会	1名参加

## 8. ひきこもりサポーター養成研修事業

月	日	実施内容	備考
7	25	ひきこもりサポーター養成協議会 第1回	※設置要綱 別紙1
8	1	研修会撮影打ち合わせ (就労継続支援B型事業所 ここりカ・プロダクション)	2名参加
8	7	第1回研修会撮影 (就労継続支援B型事業所 ここりカ・プロダクション)	
8 9	25 15	「インターネット配信研修会 第1回 基礎編」 (3週間配信)	

月	日	実施内容	備考
8	28	北海道新聞取材「インターネット配信研修会」の掲載について	電話
9	2	北海道新聞 知っ得北海道 掲載	新聞
9	14	NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク 「インターネット配信研修会」についての掲載（11月号）	電話
11	13	ひきこもりサポーター養成協議会 第2回	
11	16	第2回研修会撮影 (就労継続支援B型事業所 ここリカ・プロダクション)	
12	5 26	「インターネット配信研修会 第2回 導入・実践編」(3週間配信)	
2	8	ひきこもりサポーター養成協議会 第3回	
2	14	第3回研修会撮影 (就労継続支援B型事業所 ここリカ・プロダクション)	
3	1 22	「インターネット配信研修会 第3回 応用編」(3週間配信)	

・今年度は、「ひきこもりサポーター養成研修事業」における「インターネット配信研修会」を3回わたって行った。なお、各回に研修会を視聴したうえで答える「ミニテスト」を実施し、提出した参加者へ次回の案内をした。第3回時には、「ひきこもりサポーターの養成登録が本格化した場合にサポーター登録を希望するか」と希望調査をしている。申し込み状況等は下記のとおり。

※研修会申込180名

ミニテスト提出者：第1回（159名）、第2回（111名）、第3回（74名）

サポーター希望者：札幌市36名（希望22、検討中13、しない1）

札幌市外38名（希望19、検討中16、しない3）

c 普及啓発

「ひきこもり」に関する基本的な知識や、姿勢、支援方法等、正しい知識の普及に努めた。

1. 普及啓発実施状況

月	日	実施内容	備考
4	14	NHK札幌 記者①より問い合わせ (道新記事を見て。ひきこもりサポーターについて)	電話
4	19	宮城県精神保健福祉センターより事業内容の問い合わせ	電話
6	2	七飯町 町議員より問い合わせ (相談状況について)	電話
6	5	NHK札幌 記者②より問い合わせ (番組取材の依頼)	電話
6	6	札幌市社会福祉協議会より問い合わせ (ボランティアについて)	電話
6	12	NHK札幌 記者② 来所 (番組のための取材・インタビュー)	3名来所
6	17	NHKニュースおはよう北海道 土曜プラス 放送	テレビ

月	日	実施内容	備考
8	14	ひきこもりサポーター養成研修事業について問い合わせ (苫小牧民報記者)	電話
8	23	北広島保健福祉部福祉課より問い合わせ(実態調査について)	電話
8	23	福岡県 西南大学大学院 「ひきこもり継続要因に関する全国調査」についてアンケート調査協力依頼⇒辞退	郵送
11	27	兵庫県ひきこもり相談支援センターより問い合わせ (ひきこもりサポーター養成について)	電話
11	30	「ともに暮らしていくために」記載事項の変更(北広島市)	メール
12	8	北広島保健福祉部福祉課 広報きたひろしまの取材 (当センター当事者B氏 対応)	3名来所
12	12	当事者C氏から手作りポストカード 100部 寄贈	
12	20	苫小牧市総合福祉課より問い合わせ (ひきこもりサポーター派遣事業、専門研修等について)	電話
1	10	北海道OCDの会 代表者より問い合わせ、来所	1名来所
1	24	福岡市職員より問い合わせ (メール相談について)	電話
1	24	新篠津高等養護学校 教員より問い合わせ(進路等について)	電話
2	14	北広島保健福祉部福祉課 広報きたひろしま 打ち合わせ	電話
2	21	くらしの新聞社(まんまる新聞) 記事掲載依頼(ひきこもり出張無料相談会について)	電話
2	24	川崎医療福祉大学 教員より問い合わせ (ひきこもり支援におけるアウトリーチ型支援に関する調査)	郵送
3	14	北海道新聞取材	電話
3	16	福岡県健康推進課より問い合わせ (ひきこもりコーディネーター等、人員について)	電話
3	19	NHK札幌 記者③より問い合わせ (ひきこもり高齢化について等)	電話

## 2. インターネット利用(ホームページ)による情報発信

「ひきこもり」に対する理解と支援団体、相談機関などとネットワークを構築するためホームページによる情報発信を行った。

### ひきこもり相談ホームページアクセス件数

年度	件数	備考
平成29年度	19,876件	
28年度	17,297件	
27年度	13,552件	
26年度	13,865件	
25年度	11,431件	

年 度	件 数	備 考
24 年度	8, 0 3 2 件	
23 年度	4, 2 3 2 件	
22 年度	3, 2 2 0 件	
21 年度	3, 1 0 9 件	(9 ヶ月分)

### ○リーフレットについて

札幌市内 10 区介護予防センター (53 ヶ所) と包括支援センター (27 ヶ所) に計 80 ヶ所、5 部ずつを計 400 部。札幌市内 10 区の関係課 3 ヶ所に 10 部ずつ、計 300 部。さっぽろ子ども若者支援地域協議会の構成機関に 10 部ずつ、札幌市生活就労支援センターに 10 部、計 480 部。

その他、講演会や研修会などを活用し、ひきこもり本人および家族、関係者に向け配布。

### 3 会 計 部 門

## 貸 借 対 照 表

平成30年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	12,439,906	11,484,239	955,667
普通預金	12,439,906	11,484,239	955,667
未収金	17,406,927	16,890,299	516,628
前払金	70,000	70,000	
立替金		8,775	△8,775
流動資産合計	29,916,833	28,453,313	1,463,520
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,982,970	49,982,970	
諸貯金	17,030	17,030	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	40,972,988	38,300,022	2,672,966
減価償却引当資産	50,110,608	45,910,608	4,200,000
土地	347,016,000	347,016,000	
建物	497,434,011	497,434,011	
什器備品	22,680,809	23,436,809	△756,000
減価償却累計額 △	384,470,902	375,541,572	8,929,330
特定資産合計	573,743,514	576,555,878	△2,812,364
(3) その他固定資産			
構築物	7,414,959	7,414,959	
車両運搬具	2,207,755	2,207,755	
減価償却累計額 △	8,691,430	8,464,478	226,952
電話加入権	352,024	352,024	
預託金	45,460	45,460	
その他固定資産合計	1,328,768	1,555,720	△226,952
固定資産合計	625,072,282	628,111,598	△3,039,316
資産の部合計	654,989,115	656,564,911	△1,575,796
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	4,325,803	3,901,386	424,417
未払消費税等	429,600	531,600	△102,000
預り金	726,932	771,219	△44,287
流動負債合計	5,482,335	5,204,205	278,130
2 固定負債			
退職給付引当金	40,972,988	38,300,022	2,672,966
固定負債合計	40,972,988	38,300,022	2,672,966
負債の部合計	46,455,323	43,504,227	2,951,096
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	148,155,031	156,792,204	△8,637,173
民間助成金	98,853	130,069	△31,216
寄付金	30,000,000	30,000,000	
受贈土地	347,016,000	347,016,000	
指定正味財産合計	525,269,884	533,938,273	△8,668,389
(うち基本財産への充当額)	( 50,000,000)	( 50,000,000)	( )
(うち特定資産への充当額)	( 475,171,030)	( 483,808,204)	( △8,637,174)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 57,599,496)	( 54,447,652)	( 3,151,844)
正味財産の部合計	608,533,792	613,060,684	△4,526,892
負債及び正味財産合計	654,989,115	656,564,911	△1,575,796

# 正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	239,276	231,915	7,361
基本財産受取利息	239,276	231,915	7,361
特定資産運用益	516	2,133	△1,617
特定資産受取利息	516	2,133	△1,617
事業収益	106,103,129	101,330,832	4,772,297
国保連合会収益	37,403,383	39,645,885	△2,242,502
社保支払基金収益	31,062,931	29,168,016	1,894,915
介護自己負担金収益	4,534,700	4,023,170	511,530
研修事業収益	102,000	236,000	△134,000
就労支援事業収益	2,000,516	2,610,623	△610,107
訓練等給付費収益	28,957,088	24,508,142	4,448,946
就労支援自己負担金収益	639,600	585,000	54,600
計画相談支援給付費収益	780,291	240,936	539,355
その他の事業収益	622,620	313,060	309,560
受取補助金等	30,178,818	32,131,632	△1,952,814
受取補助金等振替額	8,888,389	10,161,309	△1,272,920
北海道委託金	13,964,789	15,075,603	△1,110,814
札幌市委託金	7,325,640	6,894,720	430,920
受取寄付金	1,488,400	461,469	1,026,931
受取寄付金	1,463,400	461,469	1,001,931
受取寄付金振替額	25,000		25,000
雑収益	916,446	1,073,531	△157,085
受取利息	722	1,615	△893
雑収益	915,724	1,071,916	△156,192
<b>経常収益計</b>	<b>138,926,585</b>	<b>135,231,512</b>	<b>3,695,073</b>
(2) 経常費用			
事業費	117,991,486	117,354,535	636,951
給料手当	62,399,340	61,686,031	713,309
臨時雇賃金	8,885,205	9,011,703	△126,498
退職給付費用	3,650,302	3,837,197	△186,895
福利厚生費	10,128,306	9,755,194	373,112
旅費交通費	1,775,098	2,046,488	△271,390
通信運搬費	710,196	863,484	△153,288
減価償却費	9,289,090	9,287,666	1,424
消耗什器備品費	1,112,299		1,112,299
消耗品費	2,276,632	2,082,567	194,065
修繕費	158,575	386,973	△228,398
印刷製本費	200,880	404,150	△203,270
燃料費	1,095,061	896,834	198,227
光熱水料費	2,089,546	2,028,079	61,467
賃借料	1,605,037	1,367,003	238,034
保険料	686,209	507,541	178,668
諸謝金	1,813,500	2,786,000	△972,500
租税公課	975,661	1,002,943	△27,282
支払負担金	311,794	395,213	△83,419
委託費	5,145,644	5,366,968	△221,324
雑費	9,500		9,500
医薬材料費	18,466	11,239	7,227
デイケア材料費	891,832	834,485	57,347
利用者工賃	1,688,700	2,389,412	△700,712

# 正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
支払手数料	1,074,613	407,365	667,248
管理費	16,793,601	16,705,047	88,554
役員報酬	129,500	114,700	14,800
給料手当	11,692,040	11,769,747	△77,707
臨時雇賃金	11,299	12,356	△1,057
退職給付費用	361,019	379,502	△18,483
福利厚生費	1,931,573	1,892,483	39,090
会議費	35,956	34,598	1,358
旅費交通費	32,940	52,430	△19,490
通信運搬費	87,853	101,326	△13,473
減価償却費	623,191	622,856	335
消耗品費	161,772	155,490	6,282
修繕費	11,287	27,045	△15,758
燃料費	75,543	61,754	13,789
光熱水料費	130,407	127,115	3,292
賃借料	42,554	23,556	18,998
保険料	61,231	44,339	16,892
租税公課	34,739	38,157	△3,418
支払負担金	50,946	74,487	△23,541
雑費	32,960		32,960
支払手数料	230,168	100,250	129,918
委託費	1,056,623	1,072,856	△16,233
経常費用計	134,785,087	134,059,582	725,505
評価損益等調整前当期経常増減額	4,141,498	1,171,930	2,969,568
評価損益等計			
当期経常増減額	4,141,498	1,171,930	2,969,568
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	1		1
什器備品売却損	1		1
経常外費用計	1		1
当期経常外増減額	△1		△1
税引前当期一般正味財産増減額	4,141,497	1,171,930	2,969,567
当期一般正味財産増減額	4,141,497	1,171,930	2,969,567
一般正味財産期首残高	79,122,411	77,950,481	1,171,930
一般正味財産期末残高	83,263,908	79,122,411	4,141,497
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	220,000	1,492,920	△1,272,920
受取民間助成金	220,000	1,492,920	△1,272,920
受取寄付金	25,000		25,000
受取寄付金	25,000		25,000
一般正味財産への振替額	8,913,389	10,161,309	△1,247,920
一般正味財産への振替額	8,913,389	10,161,309	△1,247,920
当期指定正味財産増減額	△8,668,389	△8,668,389	
指定正味財産期首残高	533,938,273	542,606,662	△8,668,389
指定正味財産期末残高	525,269,884	533,938,273	△8,668,389
III 正味財産期末残高	608,533,792	613,060,684	△4,526,892



# 正味財産増減計算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		239,276		239,276
基本財産受取利息		239,276		239,276
特定資産運用益	470	46		516
特定資産受取利息	470	46		516
事業収益	90,632,091	15,660,038	△189,000	106,103,129
国保連合会収益	27,944,720	9,458,663		37,403,383
社保支払基金収益	25,550,598	5,512,333		31,062,931
デフレ自己負担金収益	3,845,658	689,042		4,534,700
研修事業収益	102,000			102,000
就労支援事業収益	2,189,516		△189,000	2,000,516
訓練等給付費収益	28,957,088			28,957,088
就労支援自己負担金収益	639,600			639,600
計画相談支援給付費収益	780,291			780,291
その他の事業収益	622,620			622,620
受取補助金等	29,600,128	578,690		30,178,818
受取補助金等振替額	8,309,699	578,690		8,888,389
北海道委託金	13,964,789			13,964,789
札幌市委託金	7,325,640			7,325,640
受取寄付金	1,488,400			1,488,400
受取寄付金	1,463,400			1,463,400
受取寄付金振替額	25,000			25,000
雑収益	363,996	552,450		916,446
受取利息	722			722
雑収益	363,274	552,450		915,724
経常収益計	122,085,085	17,030,500	△189,000	138,926,585
(2) 経常費用				
事業費	118,180,486		△189,000	117,991,486
給料手当	62,399,340			62,399,340
臨時雇賃金	8,885,205			8,885,205
退職給付費用	3,650,302			3,650,302
福利厚生費	10,128,306			10,128,306
旅費交通費	1,775,098			1,775,098
通信運搬費	710,196			710,196
減価償却費	9,289,090			9,289,090
消耗什器備品費	1,112,299			1,112,299
消耗品費	2,276,632			2,276,632
修繕費	158,575			158,575
印刷製本費	200,880			200,880
燃料費	1,095,061			1,095,061
光熱水料費	2,089,546			2,089,546
賃借料	1,605,037			1,605,037
保険料	686,209			686,209
諸謝金	1,813,500			1,813,500
租税公課	975,661			975,661
支払負担金	311,794			311,794
委託費	5,145,644			5,145,644
雑費	9,500			9,500
医薬材料費	18,466			18,466
デイケア材料費	891,832			891,832
利用者工賃	1,688,700			1,688,700
支払手数料	1,263,613		△189,000	1,074,613
管理費		16,793,601		16,793,601
役員報酬		129,500		129,500
給料手当		11,692,040		11,692,040
臨時雇賃金		11,299		11,299
退職給付費用		361,019		361,019

# 正味財産増減計算書内訳表

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
福利厚生費		1,931,573		1,931,573
会議費		35,956		35,956
旅費交通費		32,940		32,940
通信運搬費		87,853		87,853
減価償却費		623,191		623,191
消耗品費		161,772		161,772
修繕費		11,287		11,287
燃料費		75,543		75,543
光熱水料費		130,407		130,407
賃借料		42,554		42,554
保険料		61,231		61,231
租税公課		34,739		34,739
支払負担金		50,946		50,946
雑費		32,960		32,960
支払手数料		230,168		230,168
委託費		1,056,623		1,056,623
経常費用計	118,180,486	16,793,601	△189,000	134,785,087
評価損益等調整前当期経常増減額	3,904,599	236,899		4,141,498
評価損益等計				
当期経常増減額	3,904,599	236,899		4,141,498
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	1			1
什器備品売却損	1			1
経常外費用計	1			1
当期経常外増減額	△1			△1
税引前当期一般正味財産増減額	3,904,598	236,899		4,141,497
当期一般正味財産増減額	3,904,598	236,899		4,141,497
一般正味財産期首残高	71,153,508	7,968,903		79,122,411
一般正味財産期末残高	75,058,106	8,205,802		83,263,908
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	220,000			220,000
受取民間助成金	220,000			220,000
受取寄付金	25,000			25,000
受取寄付金	25,000			25,000
一般正味財産への振替額	8,334,699	578,690		8,913,389
一般正味財産への振替額	8,334,699	578,690		8,913,389
当期指定正味財産増減額	△8,089,699	△578,690		△8,668,389
指定正味財産期首残高	524,773,190	9,165,083		533,938,273
指定正味財産期末残高	516,683,491	8,586,393		525,269,884
III 正味財産期末残高	591,741,597	16,792,195		608,533,792

# 財 産 目 録

平成30年 3月31日 現在

(単位：円)

(流動資産)	貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
	現金預金 普通預金 未収金 前払金	北洋銀行白石中央支店他4口座 診療報酬、診療報酬自己負担分他 前払家賃	運転資金として	12,439,906 12,439,906 17,406,927 70,000 <b>29,916,833</b>
<b>流動資産合計</b>				
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	札幌市平成27年度第9回公募公債他	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	49,982,970
	諸貯金	北洋銀行白石中央支店	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	17,030
特定資産	退職給付引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、37,285,419円は公益目的事業会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。	40,972,988
	減価償却引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、3,687,569円は法人会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。	50,110,608
	土地	4,819.66㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、3,298,411円は法人会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	347,016,000
	建物	1,718㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	497,434,011
	什器備品	応接セット他63点	右記金額のうち、464,243,115円は公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	22,680,809
その他固定資産	減価償却累計額 △		法人会計の施設に使用している。	384,470,902
	構築物	館名板他3点	公益目的保有財産であり、公益目的事業の設備として使用している。	7,414,959
	車両運搬具	ホンダ ストリーム他1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	2,207,755
	減価償却累計額 △			8,691,430

# 財 産 目 録

平成30年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
電話加入権	日本電信電話㈱	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	352,024
預託金	リサイクル預託金 車輛2台分・事業所敷金	公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している車輛運搬具に係るリサイクル料及び事業所敷金である	45,460
<b>固定資産合計</b>			<b>625,072,282</b>
<b>負債合計</b>			<b>654,989,115</b>
(流動負債)			
未払金	職員及び商業者等に対する未払額	公益目的事業会計及び法人会計での給与手当及び経常経費の未払分である。	4,325,803
未払消費税等	平成29年度消費税		429,600
預り金	社会保険料職員自己負担分		726,932
<b>流動負債合計</b>			<b>5,482,335</b>
(固定負債)			
退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	40,972,988
<b>固定負債合計</b>			<b>40,972,988</b>
<b>負債合計</b>			<b>46,455,323</b>
<b>正味財産</b>			<b>608,533,792</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

個別原価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

#### (3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

#### (4) 消費税等の会計処理

税込方式

### 2. 会計方針の変更

該当なし

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,982,970			49,982,970
諸貯金	17,030			17,030
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
土地	347,016,000			347,016,000
建物	143,944,036		9,393,028	134,551,008
什器備品	1,385,212		292,302	1,092,910
退職給付引当資産	38,300,022	4,011,321	1,338,355	40,972,988
減価償却引当資産	45,910,608	4,200,000		50,110,608
小 計	576,555,878	8,211,321	11,023,685	573,743,514
合 計	626,555,878	8,211,321	11,023,685	623,743,514

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,982,970	49,982,970		
諸貯金	17,030	17,030		
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
土地	347,016,000	347,016,000		
建物	134,551,008	128,155,007	6,396,001	
什器備品	1,092,910	23	1,092,887	
退職給付引当資産	40,972,988			40,972,988
減価償却引当資産	50,110,608		50,110,608	
小 計	573,743,514	475,171,030	57,599,496	40,972,988
合 計	623,743,514	525,171,030	57,599,496	40,972,988

### 5. 担保に供している資産

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	17,406,927		17,406,927
合 計	17,406,927	0	17,406,927

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務  
該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
満期保有目的の債権並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
北海道平成25年度第15回公募公債	30,022,955	31,050,000	1,027,045
札幌市平成27年度第9回公募公債	19,960,015	20,130,000	169,985
合 計	49,982,970	51,180,000	1,197,030

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
地域移行支援事業	北海道		7,669,744	7,669,744	0	一般正味財産
高次脳機能事業	〃		1,596,045	1,596,045	0	一般正味財産
ひきこもり事業	〃		4,699,000	4,699,000	0	一般正味財産
ひきこもり事業	札幌市		7,325,640	7,325,640	0	一般正味財産
民間助成金						
赤い羽根助成	札幌市共募	130,069		31,216	98,853	指定正味財産
田中健記念研究助成事業	日本精神神経科診療所協会		220,000	220,000	0	指定正味財産
合 計		130,069	21,510,429	21,541,645	98,853	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	8,668,389
民間助成金当期使用分振替額	220,000
寄附金当期使用分振替額	25,000
合 計	8,913,389

11. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

12. 重要な後発事象  
該当なし

13. その他  
該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	49,982,970			49,982,970
	諸貯金	17,030			17,030
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	土地	347,016,000			347,016,000
	建物	143,944,036		9,393,028	134,551,008
	什器備品	1,385,212		292,302	1,092,910
	退職給付引当資産	38,300,022	4,011,321	1,338,355	40,972,988
	減価償却引当資産	45,910,608	4,200,000		50,110,608
	特定資産計	576,555,878	8,211,321	11,023,685	573,743,514

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	38,300,022	4,011,321	1,338,355		40,972,988

# 収 支 計 算 書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入	244,000	239,276	△4,724
基本財産利息収入	244,000	239,276	△4,724
(2) 特定資産運用収入	4,000	516	△3,484
特定資産利息収入	4,000	516	△3,484
(5) 事業収入	106,829,000	106,103,129	△725,871
国保連合会収入	43,672,000	37,403,383	△6,268,617
社保支払基金収入	28,990,000	31,062,931	2,072,931
介護自己負担金収入	3,181,000	4,534,700	1,353,700
研修事業収入	250,000	102,000	△148,000
就労支援事業収入	1,200,000	2,000,516	800,516
訓練等給付費収入	28,511,000	28,957,088	446,088
就労支援自己負担金収入	432,000	639,600	207,600
計画相談支援給付費収入	258,000	780,291	522,291
地域相談支援給付収入	65,000		△65,000
その他の事業収入	270,000	622,620	352,620
(6) 補助金等収入	21,510,000	21,510,429	429
民間助成金収入	220,000	220,000	
北海道委託金収入	13,964,000	13,964,789	789
札幌市委託金収入	7,326,000	7,325,640	△360
(8) 寄付金収入	930,000	1,488,400	558,400
寄付金収入	930,000	1,488,400	558,400
(9) 雑収入	1,765,000	916,446	△848,554
受取利息収入	13,000	722	△12,278
雑収入	1,752,000	915,724	△836,276
事業活動収入計	131,282,000	130,258,196	△1,023,804
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	106,738,000	105,573,178	1,164,822
給料手当支出	62,547,000	62,399,340	147,660
臨時雇賃金支出	9,024,000	8,885,205	138,795
退職給付支出	522,000	521,084	916
福利厚生費支出	10,191,000	10,128,306	62,694
旅費交通費支出	1,776,000	1,775,098	902
通信運搬費支出	803,000	710,196	92,804
消耗什器備品費支出	1,113,000	1,112,299	701
消耗品費支出	2,278,000	2,276,632	1,368
修繕費支出	159,000	158,575	425
印刷製本費支出	201,000	200,880	120
燃料費支出	1,183,000	1,095,061	87,939
光熱水料費支出	2,091,000	2,089,546	1,454
賃借料支出	1,698,000	1,605,037	92,963
保険料支出	687,000	686,209	791
諸謝金支出	1,814,000	1,813,500	500
租税公課支出	1,053,000	975,661	77,339
負担金支出	322,000	311,794	10,206
委託費支出	5,217,000	5,145,644	71,356
雑支出	66,000	9,500	56,500
医薬材料費支出	20,000	18,466	1,534
デイケア材料費支出	1,020,000	891,832	128,168
利用者工賃支出	1,689,000	1,688,700	300
手数料支出	1,264,000	1,074,613	189,387
(2) 管理費支出	17,670,000	16,626,662	1,043,338



## 収 支 計 算 書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
役員報酬支出	211,000	129,500	81,500
給料手当支出	12,037,000	11,692,040	344,960
臨時雇賃金	61,000	11,299	49,701
退職給付支出	818,000	817,271	729
福利厚生費支出	2,287,000	1,931,573	355,427
会議費支出	40,000	35,956	4,044
旅費交通費支出	33,000	32,940	60
通信運搬費支出	89,000	87,853	1,147
消耗品費支出	263,000	161,772	101,228
修繕費支出	12,000	11,287	713
燃料費支出	89,000	75,543	13,457
光熱水料費支出	195,000	130,407	64,593
賃借料支出	44,000	42,554	1,446
火災保険料支出	63,000	61,231	1,769
租税公課支出	37,000	34,739	2,261
負担金支出	51,000	50,946	54
雑支出	33,000	32,960	40
手数料支出	231,000	230,168	832
委託費支出	1,076,000	1,056,623	19,377
事業活動支出計	124,408,000	122,199,840	2,208,160
事業活動収支差額	6,874,000	8,058,356	1,184,356
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
(2) 特定資産取崩収入	1,340,000	1,338,355	△1,645
退職給付引当資産取崩収入	1,340,000	1,338,355	△1,645
投資活動収入計	1,340,000	1,338,355	△1,645
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出	8,214,000	8,211,321	2,679
退職給付引当資産取得支出	4,013,000	4,011,321	1,679
減価償却引当資産取得支出	4,201,000	4,200,000	1,000
投資活動支出計	8,214,000	8,211,321	2,679
投資活動収支差額	△6,874,000	△6,872,966	1,034
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
Ⅳ 予備費支出			
当期収支差額		1,185,390	1,185,390
前期繰越収支差額		23,249,108	23,249,108
次期繰越収支差額		24,434,498	24,434,498

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	11,484,239	12,439,906
未 収 金	16,890,299	17,406,927
前 払 金	70,000	70,000
立 替 金	8,775	0
合 計	28,453,313	29,916,833
未 払 金	3,901,386	4,325,803
未 払 消 費 税 等	531,600	429,600
預 り 金	771,219	726,932
合 計	5,204,205	5,482,335
次期繰越収支差額	23,249,108	24,434,498

## 4 監査報告

# 監査報告書

公益財団法人 北海道精神保健推進協会  
理事長 阿部 幸弘 様

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成30年5月22日

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監事 曾我 浩司 

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監事 松田 敏一 

# 資 料 編

## 1 理事・監事・顧問・参与・評議員名簿

(平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	阿 部 幸 弘	こころのリカバリー総合支援センター所長
副理事長	池 田 輝 明	北海道精神病院協会会長 桑園病院院長
常務理事	中 川 悟	北海道精神保健推進協会事務局長
理 事	生 駒 一 憲	北海道大学病院リハビリテーション科教授
理 事	川 村 邦 彦	北海道精神神経科診療所協会会長 川村メンタルクリニック院長
理 事	小 出 英 子	NPO法人オーク会副理事長
理 事	山 本 真 司	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部長
理 事	中 村 末太郎	北海道精神障害者家族連合会会長
理 事	松 原 良 次	札幌精神科医会会長 札幌花園病院院長
理 事	山 本 長 史	北海道保健福祉部技監
監 事	曾 我 浩 司	北洋銀行常勤監査役
監 事	松 田 敏 一	北海道新聞社常勤監査役
顧 問	伊 東 嘉 弘	桑園病院顧問
参 与	岡 崎 大 介	北海道精神保健福祉センター所長
評 議 員	石 山 貴 博	NPO法人精神障害者回復者クラブすみれ会副理事長
評 議 員	大 澤 恵留美	北海道大学病院リハビリテーション部技師長
評 議 員	鎌 田 隼 輔	札幌市保健福祉局精神保健福祉センター所長
評 議 員	小 山 司	大谷地病院 臨床研究センター長
評 議 員	菅 原 悦 子	NPO法人札幌市精神障害者家族連合会会長
評 議 員	善養寺 圭 子	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター理事長
評 議 員	田 熊 昭 紀	こころのリカバリー総合支援センター「リラの会」会長
評 議 員	舘 岡 芳 実	NPO法人オーク会ばる指導員
評 議 員	田 中 美奈子	こころのリカバリー総合支援センター医療参事
評 議 員	土 肥 一 一	こころのリカバリー総合支援センターOB会会長
評 議 員	西 村 正 樹	認定NPO法人DPI (障害者インターナショナル) 日本会議 副議長

## 2 財団法人設立から、今日までの経過等

- 昭和62年 7月 7日 財団法人設立準備委員会発足 (第1回会議)  
 " 8月10日 財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立準備委員会 (第2回会議)  
 " 8月11日 財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立発起人会 (設立総会)

昭和62年	8月20日	民法第34条の規定に基づく財団法人北海道精神保健推進協会設立許可申請
〃	9月1日	同上許可（北海道知事）
〃	9月1日	財団法人北海道精神保健推進協会事務局設置
〃	9月10日	法人登記
平成元年	2月16日	「札幌デイ・ケアセンター」開設
〃21年	4月1日	「こころのリカバリー総合支援センター」に改称
〃24年	4月1日	財団法人から公益財団法人へ移行
〃26年	6月16日	就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」開設
〃28年	6月16日	就労移行支援事業所「ココスタ」開設
〃28年	6月16日	相談支援事業所「ココクル」開設

### 3 施設の概要

#### (1) 「こころのリカバリー総合支援センター」

所在地 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号

建物構造 鉄筋コンクリート1部2階建

面積	敷地面積	4,819.66 m <sup>2</sup>
	建築延面積	1,793.7 m <sup>2</sup>
	・管理訓練棟	1,315.5 m <sup>2</sup>
		(うち90.7 m <sup>2</sup> を「ココスタ」「ココクル」で使用)
	・体育館	463.20 m <sup>2</sup>
	・附属建物	15.00 m <sup>2</sup>
付属設備	テニスコート	1面

#### (2) 「こころカ・プロダクション」

所在地 札幌市白石区平和通15丁目北13番18号

建物 民間住宅借上 木造3LDK 90.26 m<sup>2</sup>

### 4 基本財産

基本財産の総額は5,000万円で、すべて関係団体の寄附金及び北海道、札幌市からの出捐金であり、その内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

機 関、団 体 名	金 額
北海道精神病院協会	10,000,000
北海道精神障害者家族連合会	10,000,000
札幌市婦人福祉推進協会	10,000,000
北海道	10,000,000
札幌市	10,000,000
計	50,000,000